

キャラクター名	プレイヤー名
リリン・ヴァイス・リーレンロート	

種族	エルフ	種族特徴	暗視、剣の加護/優しき水		
生まれ	妖精使い	性別	女性	年齢	19
冒険者Lv	13	経歴	投獄されたことがある		
経験点	868		育ての親に拾われた 特定の色を激しく嫌っている		

技	10	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
		器用度	7	9		26	4
体	2	敏捷度	7	7		24	4
		筋力	6	3		11	1
心	14	生命力	8	9		19	3
		知力	9	29		52 + 2	9
		精神力	9	14		37	6

技能	Lv.	技能	Lv.	技能	Lv.	技能	Lv.
フェアリータイマー	13						
レンジャー	2						
セージ	9						
ウォーリーダー	8						

戦闘特技			
ルーンマスター	IB34p		p
鋭い目	2120p		p
弱点看破	2121p		p
manaセーブ	2123p		p
魔法拡大/数	IB39p		p
魔法誘導	IB32p		p
魔法収束	IB39p		p
MP軽減/フェアリータイマー	IB33p		p
魔法制御	IB32p		p
クリティカルキャスト	IB36p		p
マルチアクション	IB39p		p
魔法拡大/時間	IB39p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p

技能	基本 レベル	基本 命中力	基本 回避力	基本追加 ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾				必要 ランク			
鎧	ソフトレザー	筋力	7	回避力		防護点	3
盾							
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)							
回避技能						合計値	0 3

武器	用法	必要 筋力	命中 修正	命中力	C値	追加 ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
戦旗槍ジャベリン(攻撃系)	1H投	5	-1	2d+ -1	10	0	10										
戦旗槍ジャベリン(防御系)	1H投	5	-1	2d+ -1	10	0	10										
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP
3 m	24 m	72 m	2d+ 0	3	60
魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP	
2d+ 18	2d+ 12	2d+ 16	2d+ 19	78	

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
妖精魔法	13	22			

装備品	説明
頭 とんがり帽子	魔物知識判定+1
耳 通辞のピアス	5種類の言語を聞き取れる。話せはしない
顔 カトレアの花冠	魔法の射程+10m @ディスプレイサー・ガジェット
首 華美な宝石飾り	
背中 ウェポンホルダー改	
右手 知力腕輪	
腰 矢筒	矢x4 徹甲矢x8
足 勇者の証(心)	成長で5,6が出ない場合1d振り直し
その他 軍師徽章	

装備品	説明
左手 マナリング	魔法のダメージ+1

その他メモ	自動失敗 チェック
赤色は、嫌いだ。それは——血の色だから。	-----
5歳まで、私の生活は平穩そのものだった。小さな村で、涼しい風と綺麗な川の音に小鳥の鳴き声が混ざっている…その中でただ風に揺られてた。	□□□□⑤
でもあの時私たちの村は、狩られた。大人は殺され、子供は捕まり拉致された。私も同様に捕まり両親は…目の前で赤く染まった。	□□□□⑩
目が覚めたのは牢屋だった。鉄の臭いしかしらない冷たい場所で、おそらくは5年ほど過ごしたと思う。一緒にいた牢屋の子供たちは、不定期に一人ずつ減っていった。そろそろ私も続くのかという頃に牢屋は壊され、私は助けられた。それからしばらく私と、残った子供たちは連れ出した当の本人に育てられ、妖精との話し方を教えてもらった。でもあの人は最後まで自分の名前を名乗らなかった。	□□□□⑮
今はもういない。だってあの人は私以外の子供を連れて、一晩のうちに消えてしまったから。なんで私だけ取り残されたのか。その意味が今もわからない。答えは本人しか知らないと思う。だから、それを聞きに行こうと思う。	□□□□㉔
でも、あの人は戦いの中にいるはずだ。それはまた、赤い色と鉄の臭いの中ということだ。	□□□□㉔
	□□□□⑤

